

## 内視鏡センター開設！

当院では、消化器内視鏡専門医による「苦痛の少ない、より精度の高い内視鏡検査・治療」をスローガンに、この度『[内視鏡センター](#)』を開設致しました。



### 内視鏡センターの特徴

#### 1 専門医師の増員

平成21年4月より消化器内視鏡専門医が更に1名増員され、合計4名の内視鏡専門医師による診療体制となり、全国レベルの高い水準の内視鏡診療をご提供致します。

#### 2 最新鋭機器の導入

最新鋭のハイビジョン画像対応の内視鏡システムや超音波内視鏡装置のほか、検査画像の一括管理が可能となるファイリングシステムを導入致しました。ファイリングシステムの導入により過去の検査画像と比較対照することが容易となり、より確実な症状の把握が可能となります。また、経鼻内視鏡も導入し、内視鏡検査での苦痛を軽減できるように致しました。

#### 3 数多くの症例を実施

当院では年間約3,300例の内視鏡症例を実施しており、実績に裏付けられた豊富な経験と高い技術をご提供致します。

#### 当院ではこんな検査・治療ができます

- ・ 超音波内視鏡検査
- ・ 特殊光撮影による内視鏡検査
- ・ 胃、食道静脈瘤硬化治療法
- ・ 胃ろう増設術
- ・ 早期胃・食道がんにおける内視鏡粘膜下層剥離術（ESD）
- ・ 内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）
- ・ 大腸ポリープ摘出術
- ・ 膵悪性疾患の診断や治療 など
- ・ ERCPによる総胆管結石碎石術

#### 4 十勝管内初！日本消化器内視鏡学会指導施設認定を申請！

この度の内視鏡センター開設にあたり、十勝管内では初となる「日本消化器内視鏡学会指導施設認定」の申請を行いました。

##### 認定施設とは？

- 指導医師・専門医師・専門スタッフが揃っていること
- 検査室や待合室など診療環境が整っていること
- 診療機器が整備されていること
- 数多くの症例の経験実績があること
- 機器の洗浄・消毒などの環境が整っていること



以上の5項目を日本消化器内視鏡学会にて審査・評価され、高い水準にあると認められた場合に認可されるものです。現在は申請中（本年11月の学会総会で認可予定）ですが、認定施設と認められると、「高水準の検査をご提供できる」「皆さまに安心して、検査を受けて頂ける」「将来内視鏡診療を志す専門医を育てる」施設になります。

#### 5 診療内容を充実させるため『大腸ドック』を開始！

厚生労働省が毎年行っている「人口動態統計」によると、がんは日本人の死因の1位を占めており、臓器別の死亡率は、**大腸がん**は肺がん、胃がんに次いで3位となっています。また、**大腸がん**は、その罹患率も死亡率も増加傾向にあり、男女ともに50歳代から増加し始め、年齢が高くなるにつれて右肩上がりに増加する傾向があります。

このことから、当院では通常の外来診療体制以外に大腸がんの早期発見・早期治療が行えるよう大腸専門ドックを開始致しました。

是非この機会に専門医による検査を受診されてはいかがでしょうか？

**大腸ドックの予約・お問い合わせは・・・**

**帯広第一病院健康推進室まで（TEL25-3121 要予約）**

#### 6 消化器外科との連携強化

内視鏡センターでの診療によって疾患を見つけても内視鏡下では出来ない手術もあります。その場合でも当院では消化器外科専門医と連携し、安心したチーム医療をご提供できるよう体制を整えております。

私たちはこれからも患者さまに安心して受けて頂ける検査を目指し、  
より質の高い治療法を追及・提供していけるよう最善の努力を致します。